函館市立湯川中学校　生徒指導だより

湯倉ヶ丘の学び舎

【重点指導テーマ】『自分視点から他者視点（広い視野で）』

発行　生徒指導部
令和4年8月25日
第6号
文責：山田好一

30 日あった夏休みも終わりました。今年は花火大会が続けて延期されるなど、天候が不安定な日が多かったように思われます。それでも昨年・一昨年よりは制限がない夏休みを過ごせた人もいたのではないでしょうか。

さて、今日から学校生活が再開します。改めて頑張ろうと決意している人、友人に会えるのを楽しみにしていた人、生活リズムが治っていない人、もう少し休みがほしい人･･･。様々な思いを抱えている人が学校という同じ空間で過ごしています。そんな中でも、全員が気持ちよくスタートできるように改めて考えてほしいことがあります。

【良いスタートが切れるように留めてほしいこと】

○「疲れた、やる気が無い、眠たい･･･」などのネガティブな気持ちは心の中に留めておく。気持ちを新たに頑張ろうとしている人がいます。ポジティブもネガティブも周囲に広まるものです。できるならポジティブな気持ちが広まるといいですね。

○学級の一員としてやってきたことを再確認。給食当番、清掃活動、係活動･･･。みんなで背負って、みんなで果たす。とても大切なこと。だれか一部の人だけが負担にならないような配慮が必要ですね。

○夏休みモードが抜けきれない人がいるかもしれません。「疲れたな」「しんどいな」という場合は、早めに就寝するなど心身のケアが必要です。ここ１～２週間は普段の学校生活に慣れるまでに時間がかかることもあります。

○不安なこと、心配なことはすぐに周囲に伝えよう。休み中の出来事や生活の中で起きたこと、宿題や学習についての相談など内容に関わらず周囲に相談して下さい。あなたにとって話しやすい大人で構いません。一人で抱え込まず一緒に解決していきましょう。

学校外で行われる行事があります

１年生：湯川学(9/2, 5, 8)　２年生：宿泊研修(9/13～14)　３年生：修学旅行(8/28～30)

学校生活とは異なり、地域の方や一般の利用客との関わりがあるため、普段よりも気をつけたり、配慮したりする場面が多くあります。時間やルールを守る、体調管理をしっかりするなど大切なポイントがありますが、その中でも**「挨拶ができるか」が一番大切だと**私は思います。

「挨拶」の語源を調べてみると、**【禅宗で問答を交わして相手の悟りの深浅を試すことを「一挨一拶」という、その言葉に由来する。「挨」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」には「迫る」「擦り寄る」といった意味がある】**そうです。

「心を開く」ということは相手(の存在)を認めるということになり、円滑な人間関係につながり、挨拶がきっかけで会話が始まることは社会でもよくあります。（反対に「挨拶したのに無視された･･･。」と悲しい気持ちになった経験はないですか？）

挨拶は**「周りの人とつながりをもち、お互い気持ちよく生きていくための手段」**なのです。昔から「挨拶をしなさい」「挨拶は大切だ」と言われているのもこのためです。

挨拶には「感謝」「配慮」「信頼」「尊敬」など多くの意味をもちます。「おはようございます」「失礼します」「ありがとうございました」などなど。「相手に挨拶をされたから」ではなく、「自ら挨拶をする姿勢・雰囲気」をみなさんで作っていきませんか？